

- 昭和46年(一九七二) 患者輸送バスが運行開始。養護学校開校。スクールバス運行開始。台風23号により大被害。
- 昭和47年(一九七二) 勤労者体育センター完成。大相撲で栃東優勝。副壺山トンネル開通。広域消防が発足。
- 昭和48年(一九七三) 市庁舎焼失。
- 昭和49年(一九七四) 六代目市長に浜名忠雄氏。教育文化センター博物館が開館。相馬港が重要港湾に指定。公共下水道事業に着手。
- 昭和50年(一九七五) 市総合計画を作成。県立海浜青年の家が完成。
- 昭和51年(一九七六) 市民憲章、市の花・木・鳥を制定。市役所新庁舎が完成。百間橋が完成
- 昭和52年(一九七七) 流山市と姉妹都市の締結。
- 昭和53年(一九七八) 七代目市長に今野繁氏。宮城県沖地震により大被害(被害総額約五億円)。休日診療制度がスタート。
- 昭和54年(一九七九) 大洲生活環境保全林がオープン。ごみ焼却場が完成。市制施行25周年記念式典を挙げる。
- 昭和55年(一九八〇) 老人憩の家が完成。上水道第七次拡張事業を実施(東部地区の「赤水」解消)。相馬駅に特急列車が停車。人権擁護都市宣言。松ヶ房ダム着工。



原釜尾浜海水浴場



中村駅 (昭和36年に相馬駅に改称)

- 昭和56年(一九八一) 相馬港がエネルギー港湾に。その背後地が我が国初の電源地帯工業団地に指定。水道事業所新庁舎が完成。湯川村と姉妹農業委員会提携。
- 昭和57年(一九八二) 八代目市長に今野繁氏。市図書館・共同福祉施設が完成。第一回相馬民謡全国大会を開催。相馬警察署新庁舎が完成。
- 昭和58年(一九八三) 大樹・豊頃両町と姉妹都市の締結。市史完結(全六巻)。地域振興整備公団が「相馬地域開発」を本採択。中村神社が国重要文化財に指定。真野ダム着工。
- 昭和59年(一九八四) 市民プールが完成。非核平和都市宣言。
- 昭和60年(一九八五) ごみ埋立処分場が完成。
- 昭和61年(一九八六) 九代目市長に今野繁氏。NHK朝の連続テレビ小説で「はね駒」放映。8・5豪雨で30年ぶりの大水害。県内初の60アール型ほ場整備に着手。ポートセンター、労働福祉会館が完成。
- 昭和62年(一九八七) 中核工業団地の起工式。節分の大雪(積雪約50cm)。国道113号バイパス建設に着手。第二次市総合計画を作成。市消防団に内閣総理大臣表彰。振替納税推進都市及び納税完納推進都市宣言。
- 昭和63年(一九八八) 中核工業団地造成に国内最大級のベルトコンベヤー始動。保健センターが完成。相馬駅に「みどりの窓口」設置。相馬港が国際港に。公立相馬病院が総合病院に。松川浦新漁港が開港。